

台風による大規模停電時における 当社薬局状況調査及び後日対応策の検討

株式会社あおい調剤グループ

有田 明弘・湯川 卓哉・加藤 謙

はじめに

2018年9月30日、日曜日の夜に浜松市に上陸した台風24号の影響で浜松市のほぼ全域が1日～数日間にわたり停電をした。建物や人に損害がなくても業務に支障が出てしまったことで、停電時における備えを考えたくグループ27店にアンケートを依頼した。

方法

自発的に対策を取ったかを判断するために、大規模停電が発生してから1か月後の2018年10月30日にグループ27店舗（浜松市：14店舗、浜松市以外の静岡県：9店舗、愛知県：3店舗、岐阜県：1店舗）の管理薬剤師を対象として、「台風による影響の有無」「被害内容」「停電期間」「10月1日以降の営業の可否」「停電状態での薬局営業にあたり何が大変だったか」「普段から災害への備えをしていたか」「大規模停電が発生してから1か月が経過したが自店舗で何か対策をとったか」「今後同様の事例が起きた際の予防策として何が考えられるか」という項目について選択式アンケート調査を実施した。

アンケート原本

台風による大規模停電時における薬局状況調査

目的：今回の調査は、台風24号による大規模停電により、浜松市を中心に大規模停電が発生した。この大規模停電による被害状況を把握し、今後の災害への備えを検討するために、各店舗の状況を調査し、結果を共有し、今後の備えを検討する。

調査対象：グループ27店舗

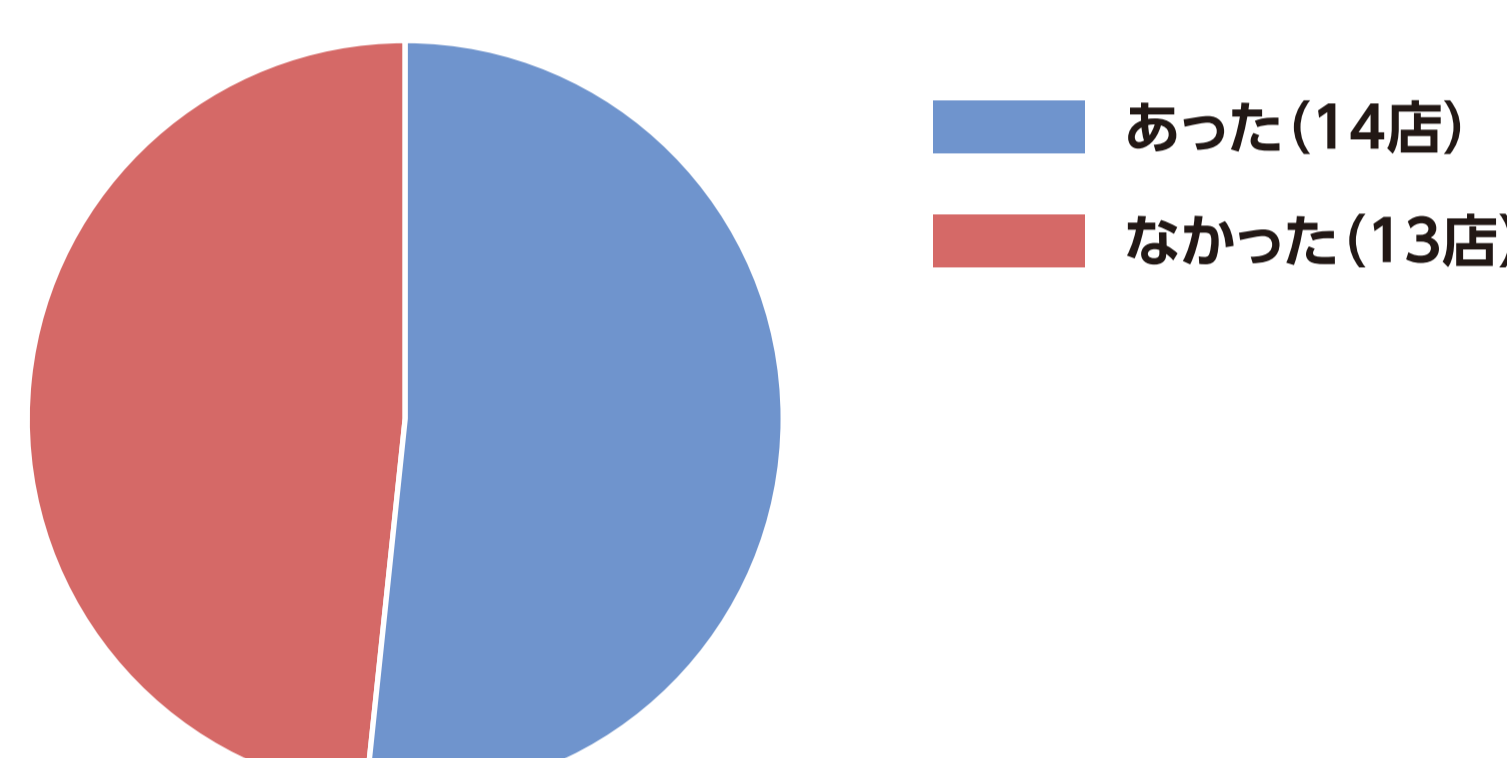
調査期間：2018年10月30日

調査方法：アンケート調査

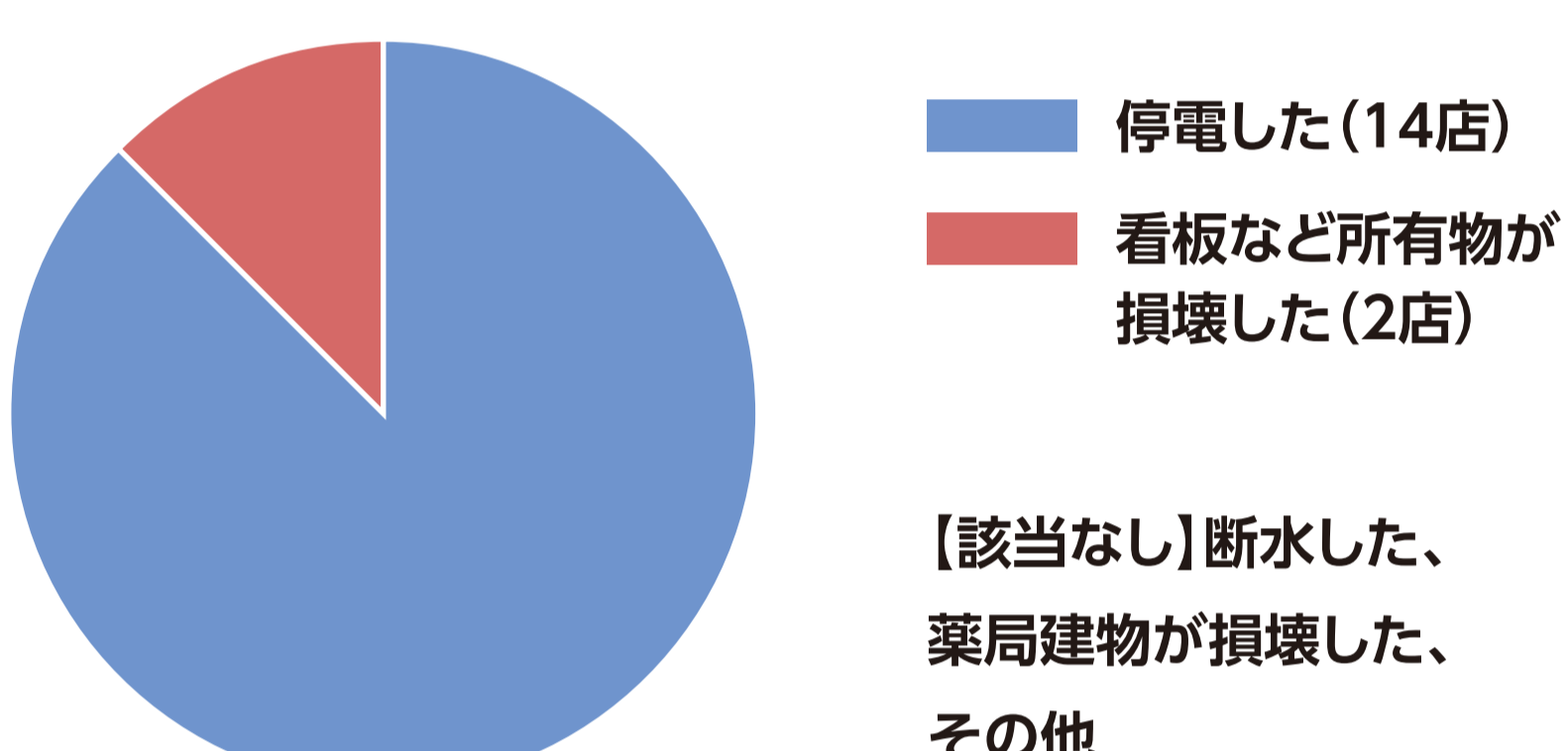
調査項目：被害の有無、被害内容、停電期間、営業状況、対策の有無、今後の備え

※本アンケートの結果は、グループ全体の傾向を把握するために活用させていただきます。ご協力をお願いいたします。

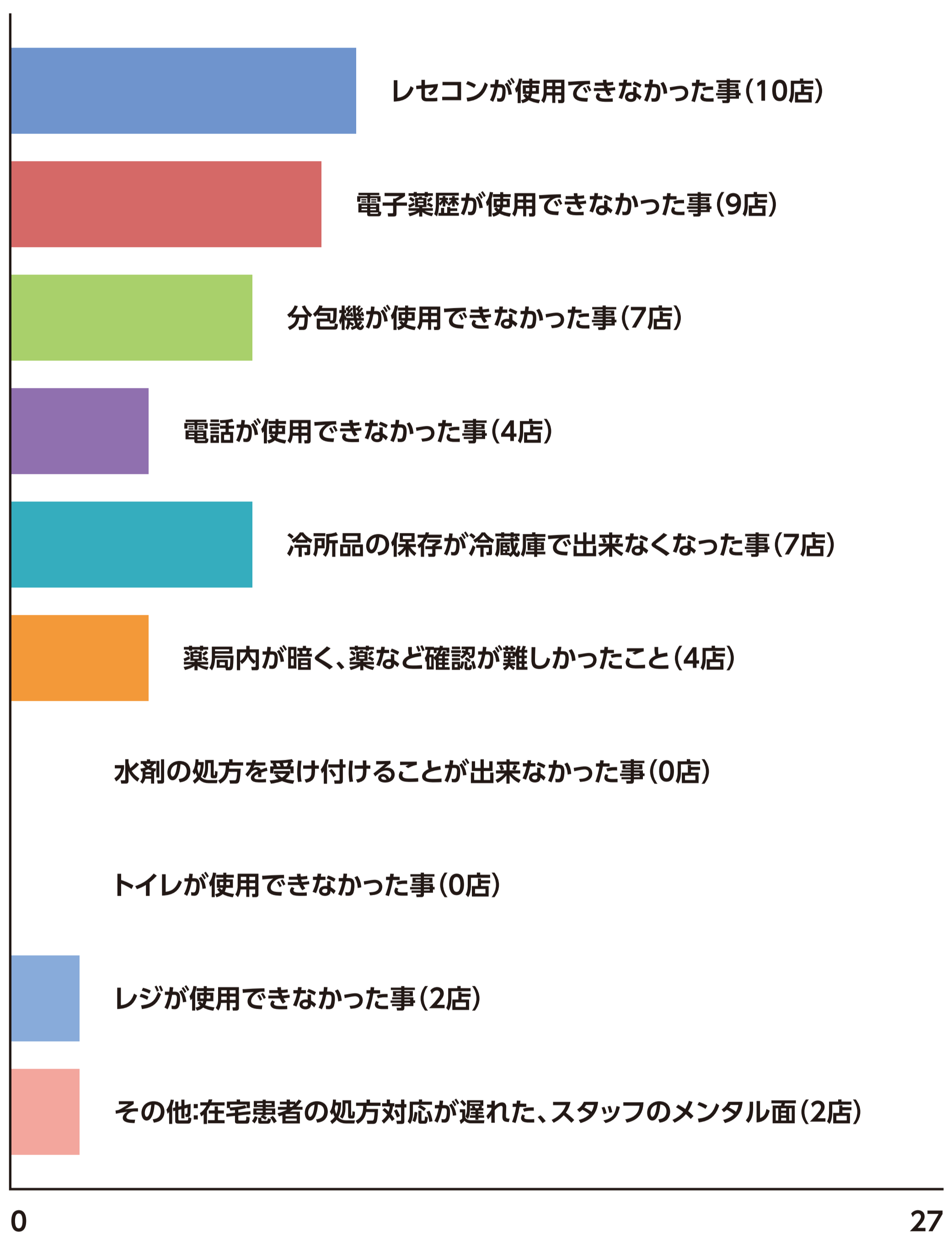
Q1 台風24号で薬局に被害はありましたか？



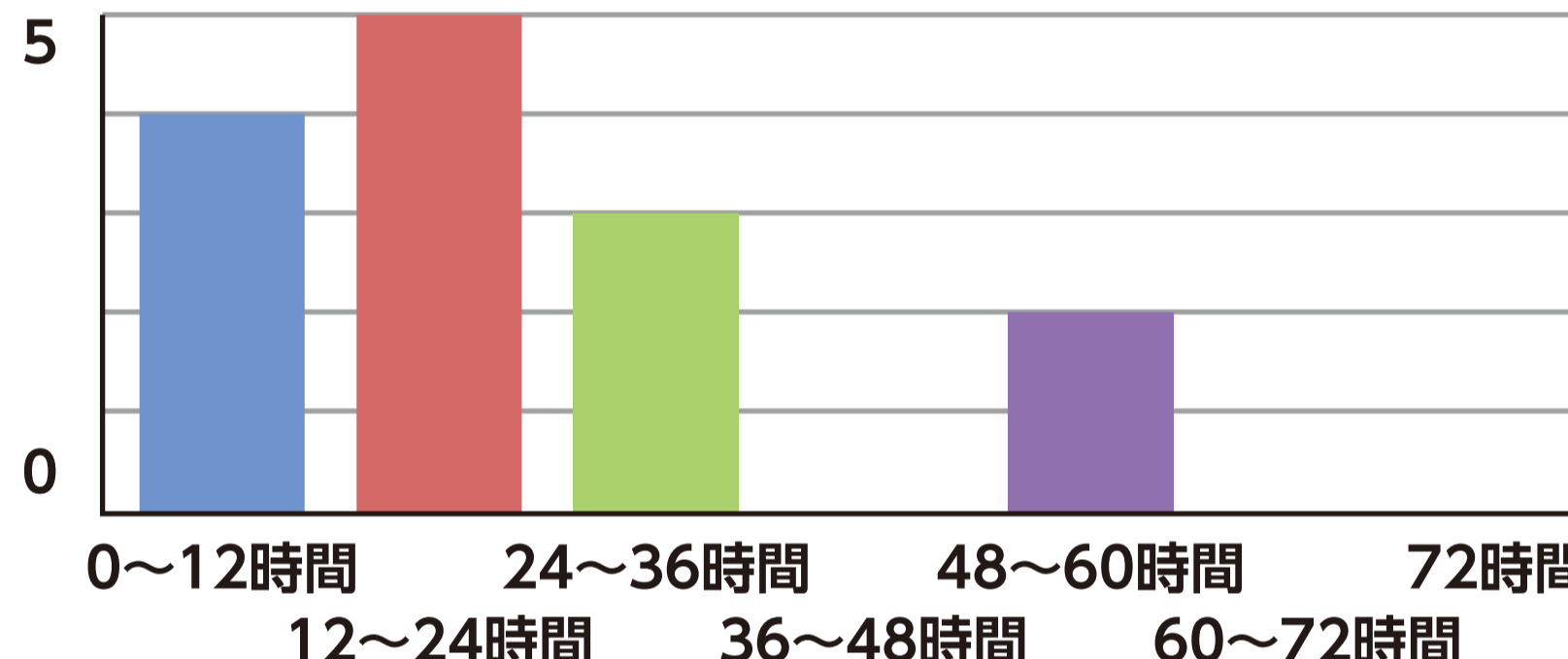
Q2 Q1で「被害があった」と答えた方にお聞きします。被害内容としては何が起きましたか？(複数回答可)



Q8 Q2で「停電した」若しくは「断水した」と答え、Q5で「平常通り営業した」若しくは「営業時間の短縮を行った」と答えた方にお聞きします。薬局を営業するにあたり何が大変と感じましたか？(複数回答可)



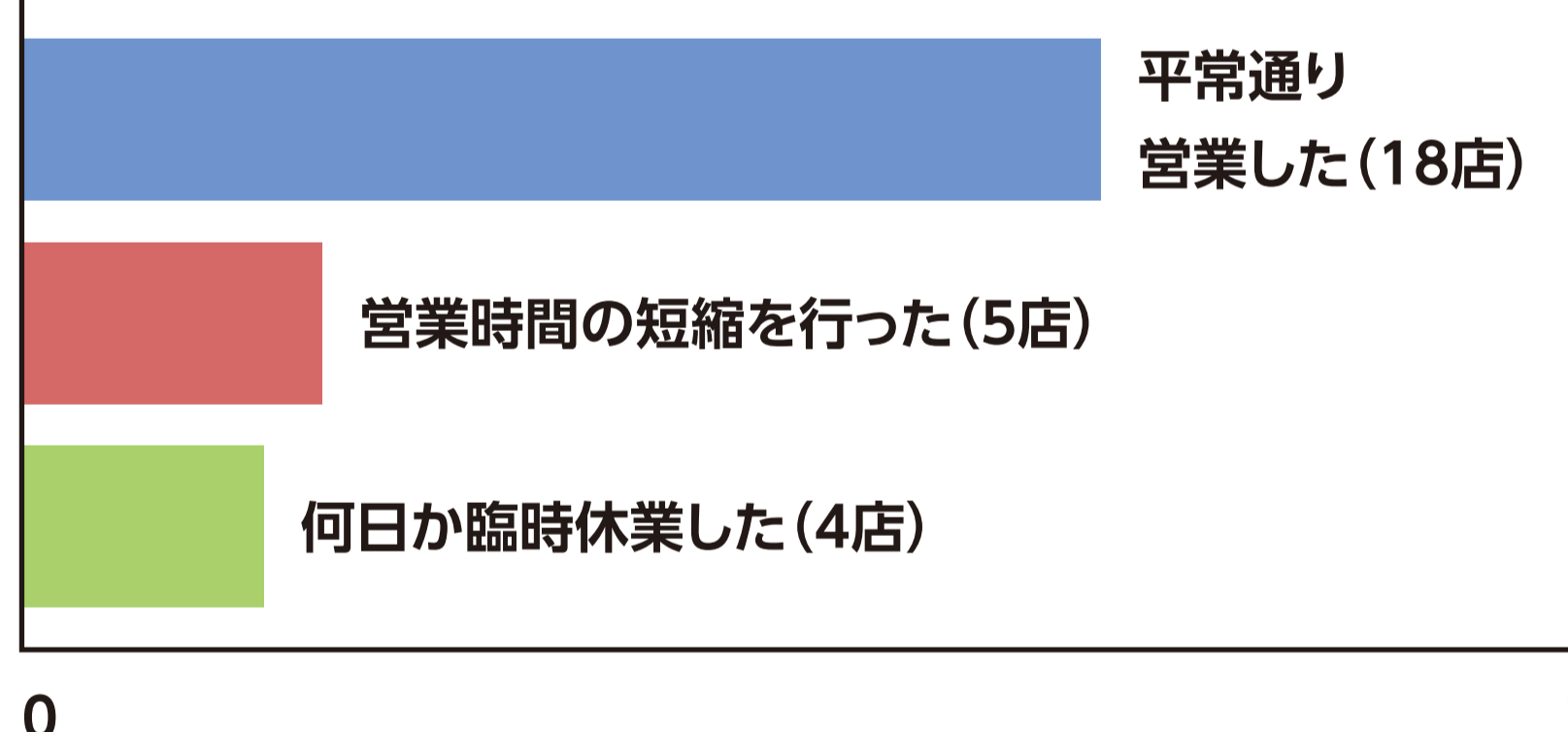
Q3 Q2で「停電した」と答えた方にお聞きします。停電した期間(停電に気づいてから通電に気づいた)はどのくらいですか？



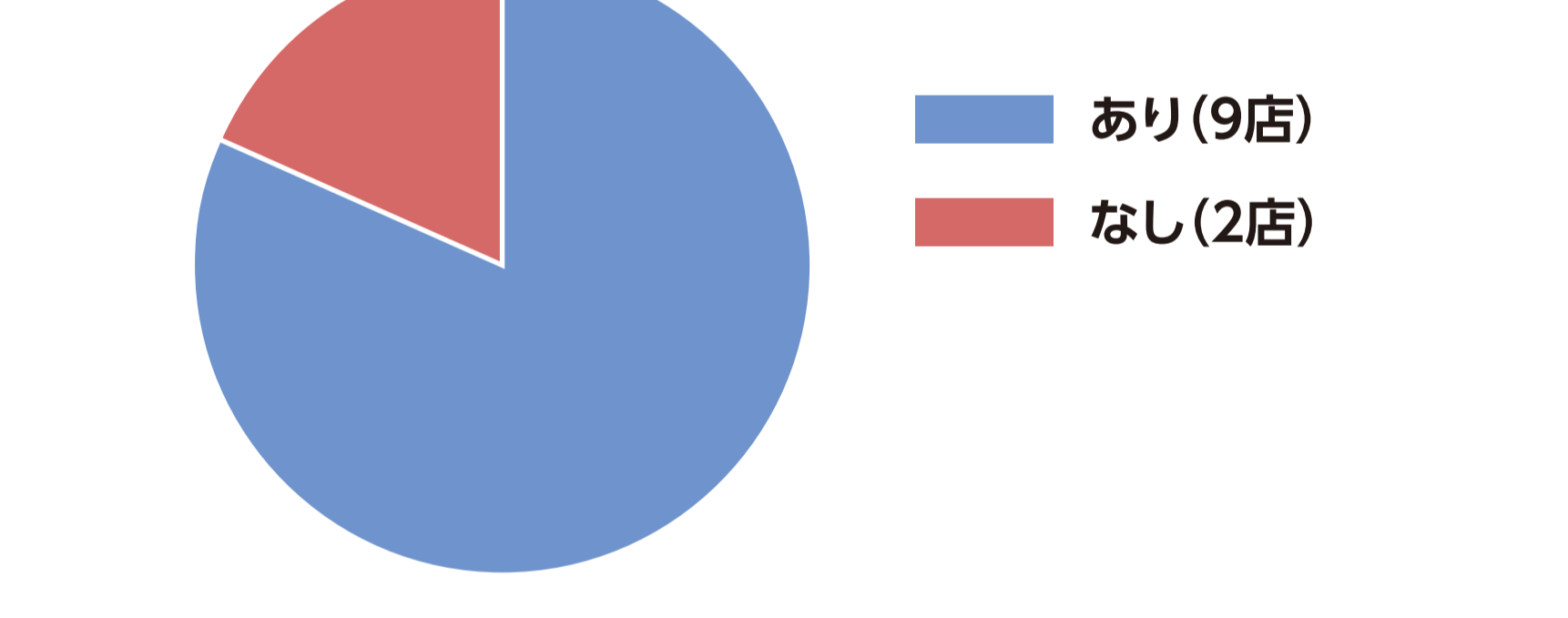
Q4 Q2で「断水した」と答えた方にお聞きします。断水した期間(断水に気づいてから通水に気づいた)はどのくらいですか？

該当なし

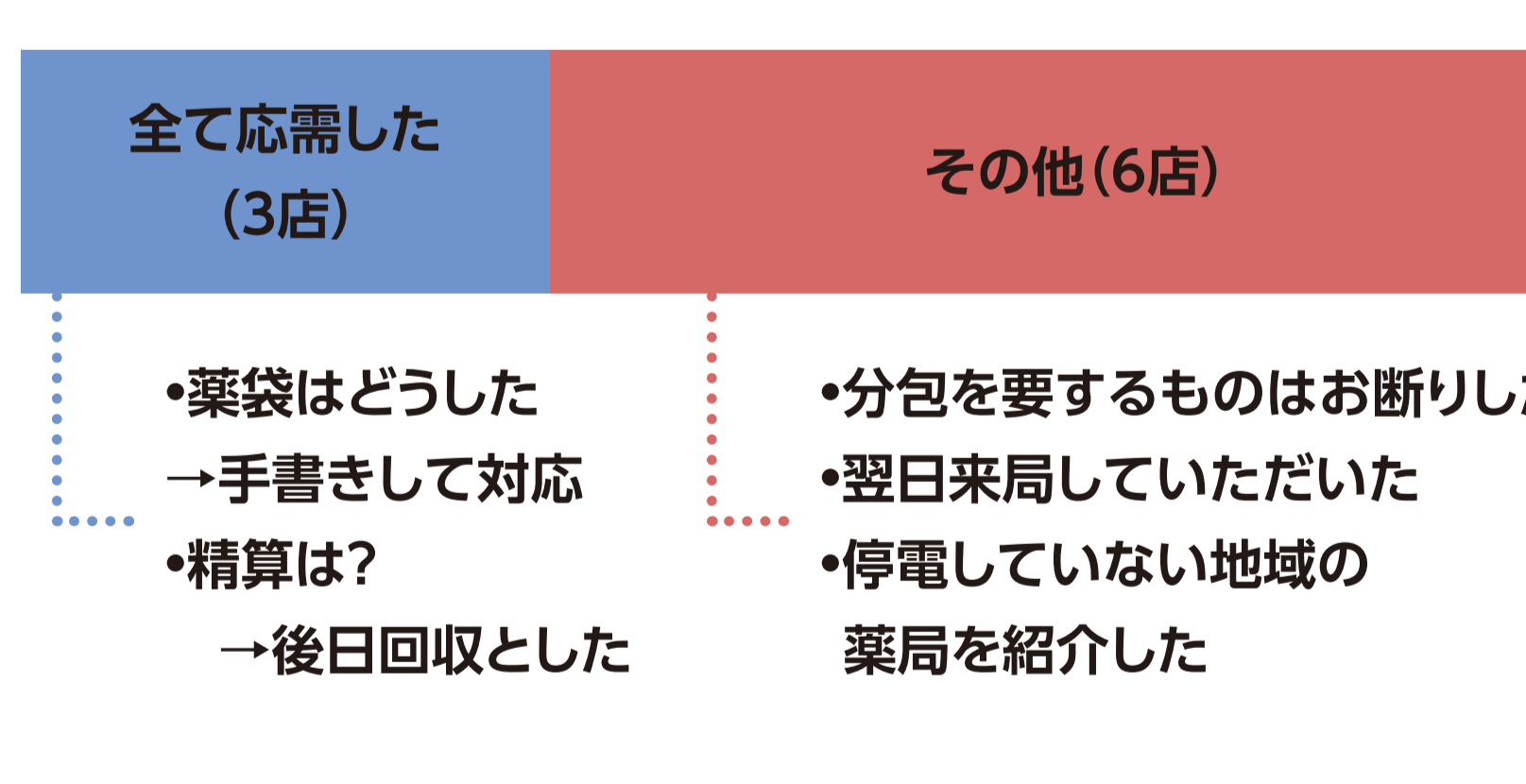
Q5 10/1(月)以降の営業時間について教えてください。(複数回答可)



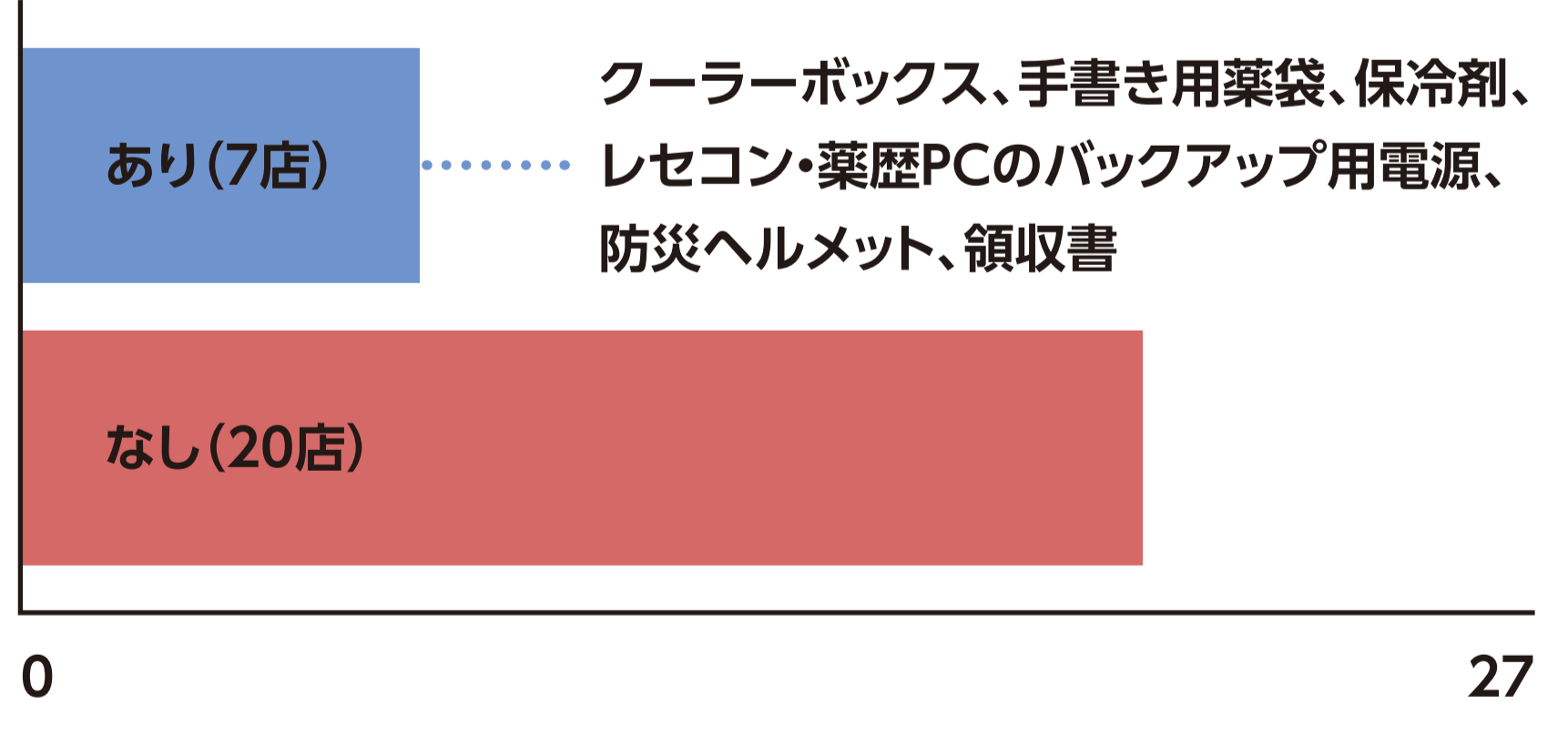
Q6 Q2若しくはQ3に該当と答えた方で、その状態が続いている間に営業を行った方にお聞きします。患者さんの来局はありましたか？



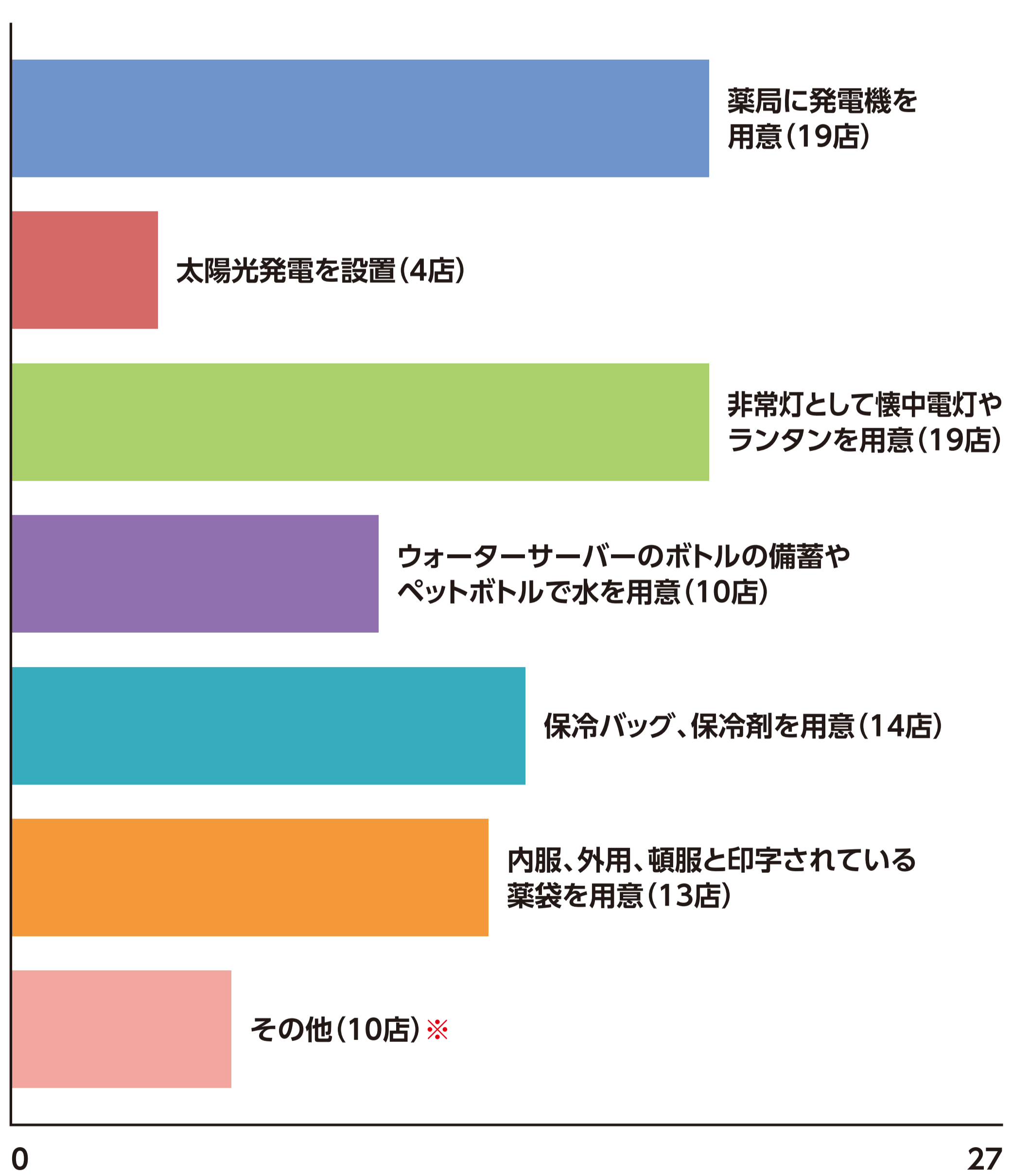
Q7 Q6で「あり」と答えた方にお聞きします。その際の対応はどうされましたか？



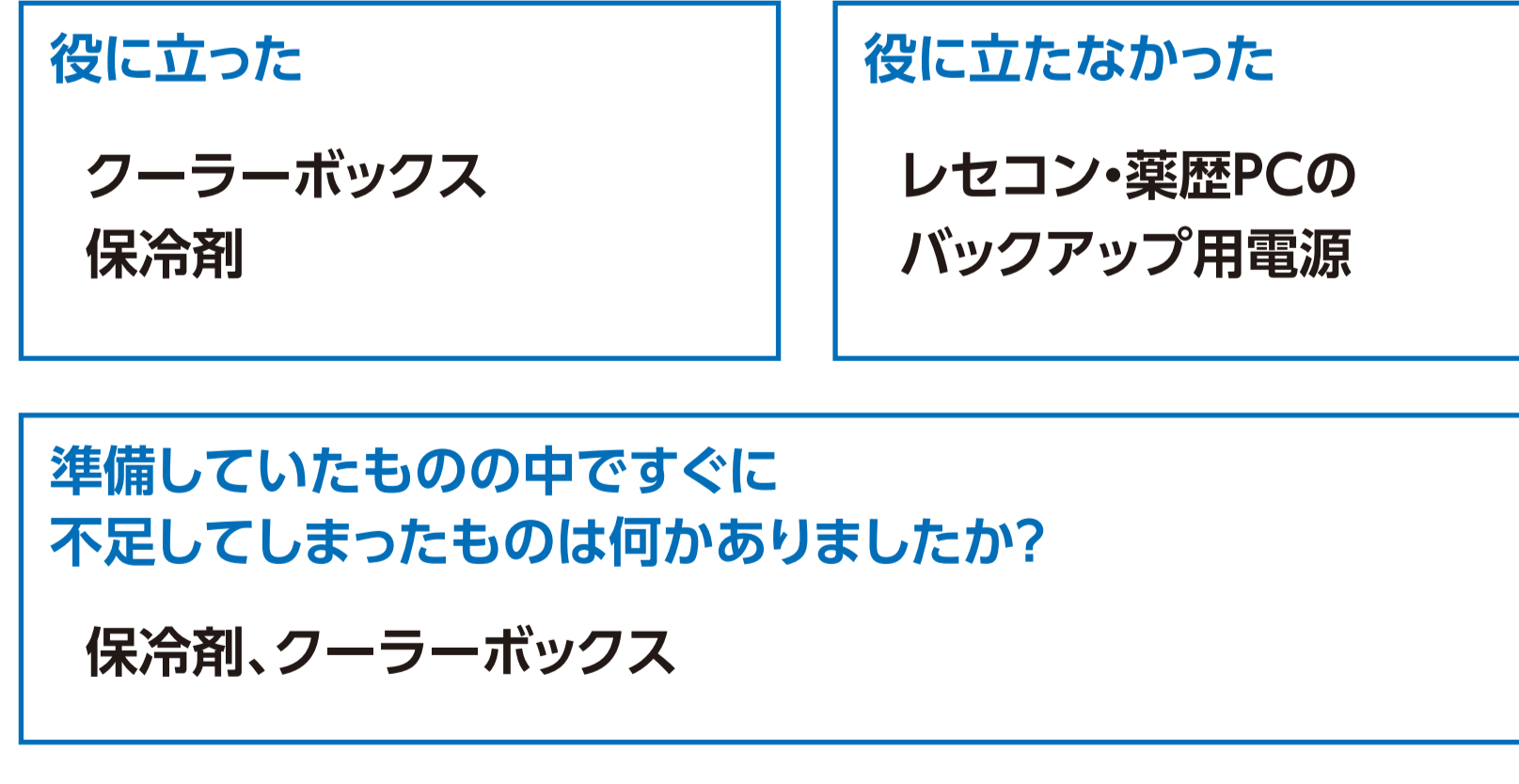
Q9 普段から、災害に対する備えとして準備しているものはありましたか？



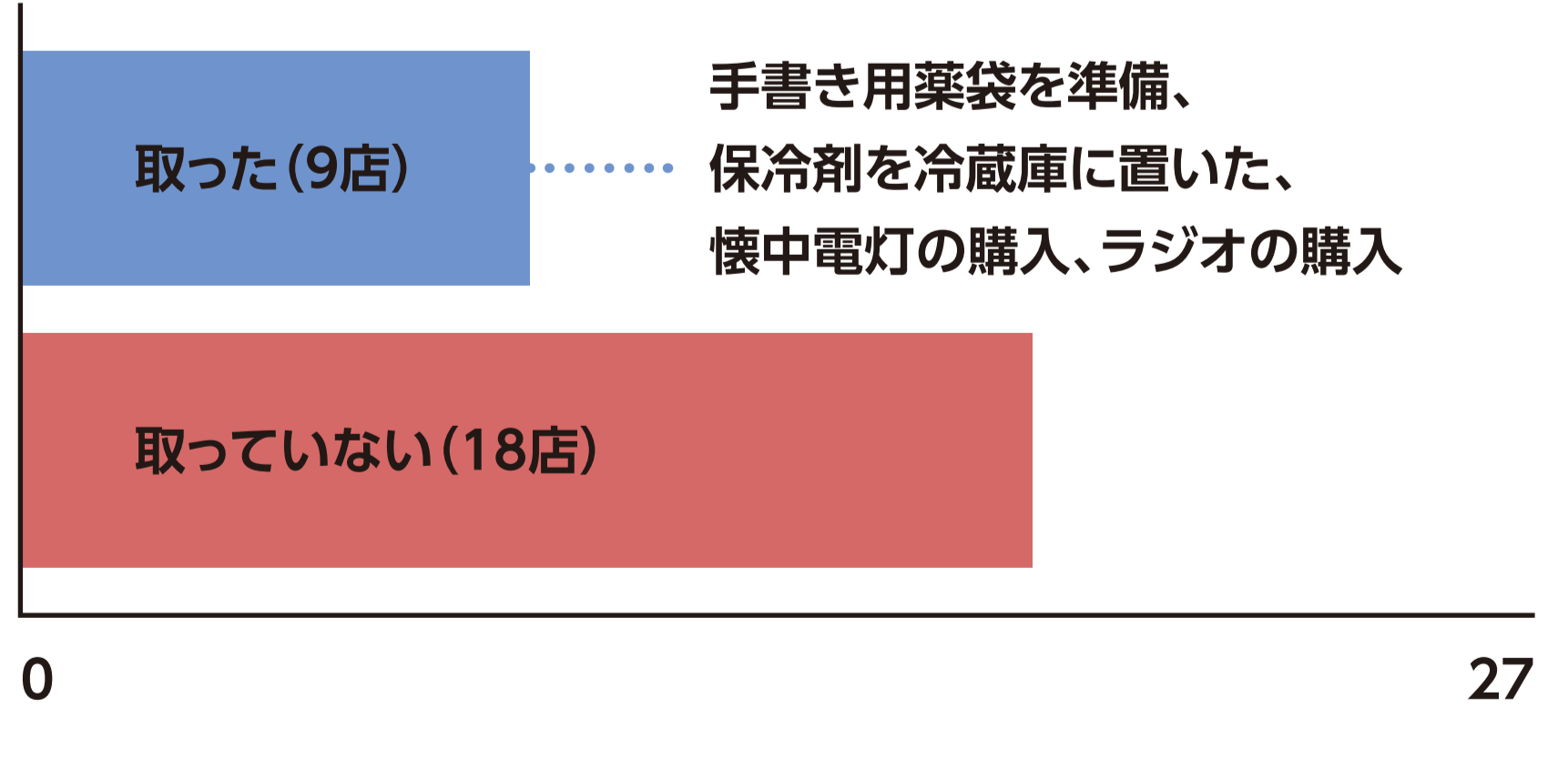
Q12 今後、建物に損壊がないが、停電又は断水が起こってしまっても営業が困難になるケースの予防策として何が考えられますか?コスト面は度外視してかまいません。(複数回答可)



Q10 Q8で「あり」と答えた方にお聞きします。準備していたものは、今回役に立ちましたか？



Q11 今回の災害に伴い、1か月が経過している10/30時点までで何か対策を取りましたか？



※電池式天秤、薬包紙、レセプト手計算の練習、手書き領収書記入の練習、手書き処方箋及び薬袋の必要記載事項の再確認、布団等の寝具、モバイルバッテリー、乾電池

考察・今後の課題

アンケート結果から、今回の停電の復旧に最長で約3日かかっていた事が分かった。業務で使用するレセコン、電子薬歴、分包機、冷蔵庫、電話、レジは停電で使えなくなることは予想できたが、調剤室が昼でも大変暗く、薬の確認すら大変という事が新たに分かった。災害に対する備え、対策は店舗毎で差があり、各自で対応する事は難しいと分かった為、冷蔵庫の使用不可の対策として大型の保冷バッグ、暗闇の対策としてランタンの全店舗の配置をすぐに指示した。今後は、停電期間中の電力確保の為、コストを考慮した上で発電機設置の検討も行いたい。

